

II - 2 中期学校経営方針

横浜市立 南小学校

令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針 (令和 5 年度修正)

学校 教育 目標	自ら課題をもち、あたたかい心でかかわっていく 南の子												
	○自ら課題を見つけ、進んで解決できる力を育てます。(知) ○あたたかい心で人やものにかかわっていく豊かな感性を育てます。(徳) ○自分の生活を見つめて心と体を鍛え、たくましく生きる力を育てます。(体) ○地域の人やものを大切にし、他者と協働する力を育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応して行動する力を育てます。(開)												
学校 概要	創立	68	周年	学校長	薄田 秀明	副校長	会田 大助	2	学期制	一般学級	15	個別支援学級	5
	児童生徒数	528		人	主な関係校		南が丘中学校 別所小学校						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
(知)問題発見・解決力 (徳)自分づくりに関する力 (体)自分の体を大切にする気持ち (公)社会と関わる力 (開)グローバル化の中で生きる力	南が丘中学校 別所小学校 南小学校	他との関わりを大切にし、主体的に取り組む子 ・学状データでの実態把握に基づいた授業改善。 ・児童生徒が主体的に課題解決に取り組むことができる授業展開の工夫 ・児童生徒の自己肯定感を向上させるために、個々の状況を適切に把握して指導に生かすための、小中の緊密な情報交換

中期 取組 目標	○だれもが安心して豊かに学ぶ学習環境をつくります。 ・ねらいを明確にし、子どもたちが見通しをもって主体的に取り組む授業づくりを推進します。 ・子どもたち一人ひとりの思いを大切にし、温かい人間関係を築き、自他を大切にする心を育てます。 ○自分のまちに親しみをもてるようにします。 ・「人」や「もの」とのつながりを意識し、豊かな体験活動を充実させます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究推進委員会</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	研究推進委員会	①学習ルールについて共通理解を図り、誰もが安心して学習に取り組めるようにする。②共同研の研究テーマを「主体的に考え、豊かに表現し、伝え合い認め合う子どもの育成」とし、子どもたちが主体的に学習に取り組むとともに、自分の考えを適切かつ豊かに表現し合い、学びを深めることができる授業づくりを推進する。
知	授業改善				
担当	研究推進委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>道徳部・児童指導部・特活部</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	道徳部・児童指導部・特活部	①道徳科の充実を図り、地域・学校に関わるの方への挨拶の大切さや思いやりの心等、道徳的な判断や心情を育て、主体的に実践できるようにする。 ②子どものよさや成長を認め合う機会を日々の生活の中でつくり、価値づけることで自尊感情を育てる。
徳	道徳教育				
担当	道徳部・児童指導部・特活部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部・食育部・保健安全部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育部・食育部・保健安全部	①「さわやかタイム」の内容を、どの子ども楽しみながら運動に親しみ、体力を向上させることができるよう、児童の実態に合わせて精選・工夫する。②児童が心身の健康についての関心を高めることができるよう、委員会活動等を通して、啓発活動を行う。
体	健康教育				
担当	体育部・食育部・保健安全部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公 開</td> <td style="background-color: yellow;">自分づくり教育 (キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部、生活・総合部</td> </tr> </table>	公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	担当	教務部、生活・総合部	①社会や自然、他者と積極的に関わる体験的な活動を通して、児童一人ひとりの自己肯定感を高める。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況や今後の活動を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)				
担当	教務部、生活・総合部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童指導部	①いじめ防止対策委員会を確実にに行い、職員全体で情報共有を図り、いじめの早期発見、早期解決に努める。また、校内の児童指導部や関係機関と連携しながら対応を進める。②YPアセスメントを活用し、児童の様子や学級風土を複数の教職員で分析・共有し、互いのよさを認め合える学年・学級づくりをする。
いじめへの対応					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	①経験年数や得意分野等を考慮し、職員一人ひとりが組織の中で責任ある役割を担うことで、教職員としての資質および学校経営への参画意識を高める。②メンター研修の中で、経験年数の少ない教員が経験豊かな教員から授業や学校の業務について学ぶ機会を設定することで、経験年数の少ない教員同士が共に高め合う環境を整える。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部、生活・総合部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部、生活・総合部	①地域との連携を図り、学習ボランティア、出前授業等を通して、地域の人々に関わる機会を設定する。 ②総合的な学習の時間を中心に地域の材を活用して、地域の人々や社会、自然環境等と関わり、深く知ることで、まちへの愛着をもつことができるようにする。
地域学校協働活動					
担当	教務部、生活・総合部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援委員会	①特別支援委員会を中心に、YPの活用やコンサルテーションを行うことで、一人ひとりの児童理解を深め、指導、支援を進める。また特別支援教室の充実を図る。②全校でユニバーサルデザインを意識した環境整備を行う。
特別支援教育					
担当	特別支援委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童生徒指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	児童指導部	①「南小ガイドブック」を全職員で共通理解し、全職員が同じ指導方針で指導にあたる。②校内委員会で、児童の学校生活の様子や配慮の必要な児童の情報共有を行い、指導・支援の方法を共通理解して組織で対応する。
児童生徒指導					
担当	児童指導部				